

研究機関：広島大学

研究課題名	感染症における原因微生物と臨床所見の関連性に関する研究
研究責任者名	広島大学病院感染症科 教授 大毛宏喜
研究期間	2020年8月5日（倫理委員会承認後）～2025年12月31日
対象者	2008年1月から2024年12月の間に、広島大学病院において診療を受けた患者さんのうち、各種培養検査により微生物が検出された患者さん。
意義・目的	<p>感染症において、原因微生物を特定することは、その治療を最適化する上で重要です。原因微生物を特定することで、感染経路の推定、発症に至った患者背景の評価、最適な治療薬の選択、最適な治療期間の設定につながります。また同じ病原微生物名であっても遺伝子領域のタイプや薬剤感受性、病原因子の有無などによって、重症度や予後に差が出てくるため治療方針も変わってきます。また希少な原因微生物では、同定方法や標準的治療法が確立していないこともあります。</p> <p>本研究は、広島大学病院において、培養検査において分離された微生物の微生物学的特徴を評価し、患者さんの臨床経過との関係性を解析することで、最適な診断と治療に結びつけるための研究です。</p>
方法	<p>本研究は通常の診療過程で提出された微生物検体の中から、対象となる微生物が培養された患者さんの診療情報を診療録(カルテ)から転記します。また患者さんから培養された微生物について必要に応じて遺伝子学的解析も行います。</p> <p>カルテから転記する内容は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服歴、飲酒・喫煙歴、血液検査、培養同定検査、薬剤感受性検査、画像所見（CT、MRI、PET-CT、内視鏡、エコー）、病理所見、使用抗生剤、併用治療法、予後です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p>
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-1613</p> <p>研究責任者：広島大学病院 感染症科 教授 大毛宏喜</p> <p>研究担当者：広島大学病院 感染症科 助教 大森慶太郎</p>